

肺がん・呼吸器病
センター開設

contents

- ・新しい放射線治療装置
(リニアック)が稼働しました
- ・着任の挨拶

山梨県立中央病院 医療連携 だより

NEW

2016年4月1日より 「肺がん・呼吸器病センター」開設 365日24時間受け入れ可能！患者さんに最良の治療を！



呼吸器外科部長

後藤 太一郎

平成28年4月1日より、当院呼吸器外科と呼吸器内科を合併し、「肺がん・呼吸器病センター」を開設することとなりました。当センターは呼吸器診療に特化した高度先進医療センターであり、私は初代センター長に着任する後藤太一郎と申します。従前の「気胸ホットライン」に加えて、「肺がんホットライン」も新設する予定であり、肺癌患者さんを365日24時間、当センターで受け入れ可能となります。また、肺癌診療の効率化（治療開始までの待機時間の短縮など）に加え、高度先進医療（免疫療法、ロボット手術など）、新治療の開発（肺がん遺伝子変異に応じた個別化医療、新規抗がん剤の治

験など）にも取り組んでいく所存です。肺癌、縦隔腫瘍、気胸、肺炎、気管支喘息、COPD、間質性肺炎など幅広い疾患の患者さまに対して、「断らない」「諦めない」医療を実践します。患者さまに最良の治療を受けて頂けるよう、私たちの持てるすべての技術と知識をもって診療に当たります。今後とも貴院よりご紹介の労をお取りいただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

当院呼吸器外科の手術症例数の推移



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1
TEL.055-253-7111/FAX.(直通)055-253-2903

リニアック

新しい放射線治療装置が稼働開始しました

CHECK

1

A new radiation therapy device operated and started.



新リニアック棟を増設し、新しい放射線治療装置が平成27年12月1日から稼働いたしました。平成23年度に準備を始め、これからの放射線治療の動向や県内需要などを精査しながら、4年半という歳月を要しました。その間、患者様や関係医療機関の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。この場をお借りして御礼申し上げます。

当院が放射線によるがん治療を始めたのは、現在の富士見一丁目に新築移転した昭和45年(1970)ですので、放射線治療を導入してから45年になります。当時の資料によるとアイソトープ検査による“がんの早期発見”と放射線治療が新病院の重点項目の一つでした。当時に比べると現在の放射線治療は格段に高度化し、より高精度で安全な照射が可能になりました。また、画像工学の進歩により、CT検査、MRI検査やPET検査などの画像情報が、放射線治療の線量分布図の作成や照射部位のズレの縮小にも活用されています。

これまで使用していたリニアックは、新病院が1期完成した平成13年に新規に設置した最新の装置でしたが、最近では、より精度の高い放射線治療が必要な方には他施設に紹介をさせていただいていました。新しいリニアックの導入により、当院でも画像誘導放射線治療 (IGRT)、体幹部定位放射線治療 (SBRT) や強度変調放射線治療 (IMRT) などの高精度放射線治療に対応できる環境が整いました。

今後の課題としましては、大きく2つ考えられます。一つは基盤整備、もう一つは人材の育成です。基盤整備につきましては、高齢化社会が進むにつれて、全国で放射線治療患者が年間1万人ずつ増加するといわれています。当院は全国的にも年間治療件数の多い施設ですので、今後も待機期間なく、より安全に安心して治療をうけていただくための整備が急務です。人材育成につきましては、より高度な放射線治療に対応できる人材の育成です。現在、放射線治療専門医師、放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士の資格をもった医師や診療放射線技師が担当していますが、更に医学物理士の確保と放射線治療認定看護師の育成が待たれます。

最後になりますが、動き始めたばかりの装置ですので、本格的な稼働にはもう少し時間が必要です。一日も早く県民の皆様の期待に沿えるよう努めてまいります。



放射線部
総放射線技師長

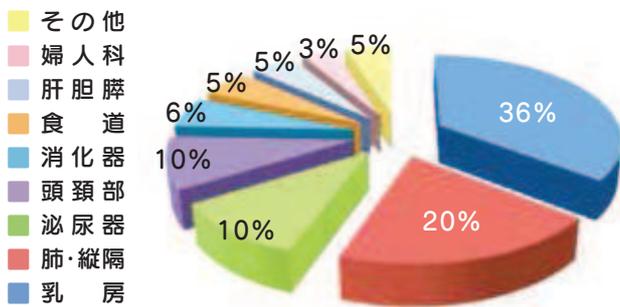
宮崎 旨俊

Topics

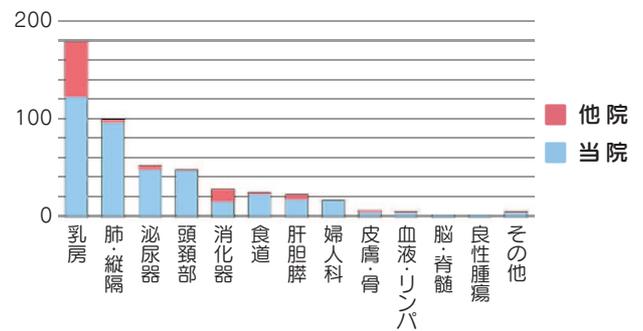
放射線治療装置 (リニアック) の紹介

2014年度における 治療部位の割合と放射線治療実績

2014年 治療部位の割合



2014年 放射線治療実績(部位別) (件数)



CHECK 2

着任の挨拶



放射線部
放射線治療科

大栗 実彦

本年1月1日付で放射線治療科に赴任致しました大栗実彦と申します。常日頃、当院との医療連携にご理解、ご協力を賜わり誠に有難うございます。昨年12月に当院の放射線治療機が更新されました。今回導入されました治療器は、エレクトラ社製シナジーというリニアックであり、さらに同室型CTを併設することで、従来の治療器と比べより高精度な治療が可能となっております。新治療機導入に伴い、治療器本体だけでなく、治療を施行する必要となるシステムも大きく変わりました。従来型治療機との大きな違いから、新治療機導入に際し患者さんの人数を制限せざるを得ず、誠に申し訳ありませんでした。今後は患者さんにより一層の高精度治療を提供し、安心してがん治療を受けていただけるよう努力して参りたいと存じます。今後とも、ご指導・ご紹介のほどよろしくお願いいたします。



地域連携研修会が
開催されました

「大腿骨頸部骨折・骨粗鬆症の
地域連携を考える」

平成27年12月16日(水)、当院多目的ホールにおいて、地域連携研修会を開催しました。

当院リハビリテーション科部長・整形外科佐久間陸友医師が、「大腿骨頸部骨折・骨粗鬆症の地域連携を考える」と題して講演し、院外より9名の医師、看護師、相談員等が、院内からは22名の職員が出席しました。

山梨県内で行われている大腿骨頸部骨折地域連携パスの内容説明、反対側の骨折を防ぐ2次予防が大切という内容の講演でした。

連携パスでは急性期→回復期→維持期という流れが来ていますが、現状では維持期まで移行されるケースが少なく、2次予防が出来ていない状態です。そのため、今後は維持期まで継続していくことが今後の課題として挙げられました。

当地域連携センターでは院内・院外に向けた連携のための研修会を今後も定期的で開催させていただきたいと考えております。その都度ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

研修会の情報はホームページでもご案内しています。併せてご覧ください。
<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

次回研修会

日時：H28年 3月18日(金) / 19:30~20:30

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール

甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

題名：心臓・大動脈手術の変遷、最近の話題
～医療連携強化に向けて～

講師：山梨県立中央病院
心臓血管外科 院長 土屋 幸治 医師

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

1

かかりつけの
医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)